

財団シンボルマーク



平成10年度

アイヌ語ラジオ講座 テキスト

1月 ▶ 3月

Vol. 4

1999

STVラジオ平成10年4月12日より放送中

本放送

毎週日曜日 あさ 6:45 ~ 7:00

再放送

毎週土曜日 あさ 6:00 ~ 6:15

財団法人 **アイヌ文化振興・研究推進機構**

講師のプロフィール

しか だ かわ み 鹿 田 川 見

旭川市雨紛生まれ。

1989年に開催された「第1回アイヌ民族文化祭」で、アイヌ民族文化の素晴らしさに心を打たれ、それをきっかけに、旭川市博物館の魚井一由氏に師事し、本格的にアイヌ語を学び始める。

現在、旭川アイヌ語教室の講師・運営副委員長として、活躍している。

協力者紹介

かわ むら 川 村 シンリツ・エオリパック・アイヌ

旭川近文コタン生まれ。川村アイヌ民族記念館館長。

1987年頃より旭川アイヌ語教室を主宰し、イオマンテを積極的に行うなど、伝統の精神と民族文化の保存に努めている。

あさ い とおる 浅 井 亨

1950年代に旭川市の川村カ子トアイヌ氏宅に世話になりながら、杉村キナラブックさん、門野ナンケアイヌ、ハルコロご夫妻、三浦タマイリさんに師事して、旭川のアイヌ語を習い始める。

このテキストの原稿執筆を担当。

アイヌ語ラジオ講座のスケジュール表

月	回	日	テ - マ
1月	1	3日	寒さ暑さ
	2	10日	家を訪れる
	3	17日	大人と子ども
	4	24日	地上の人間
	5	31日	文化講座(1)コタンの思い出
2月	6	7日	お山
	7	14日	お天気
	8	21日	よその言葉
	9	28日	文化講座(2)口承文芸
3月	10	7日	数える
	11	14日	しきたり
	12	21日	カムイたち
	13	28日	まとめ

アイヌ語には現在のところ共通語というものはなく、それぞれの地域で、それぞれの方言が学ばれているのが実情です。

そのため、このテキストでは、担当講師の方言(旭川の方言)をベースにしています。

【旭川アイヌ語教室の活動について】

旭川アイヌ語教室は、毎週日曜日、18時30分から21時まで、旭川市緑町にある旭川市民生活館で開設しており、アイヌ語会話を中心としたアイヌ語やささまざまなアイヌ文化を楽しく学んでいます。

なお、旭川アイヌ語教室に関するお問合せ先は、次のとおりです。

10166 51 2461(川村兼一宅)

このテキストでのアイヌ語の表記は、大体これまでの方法に準じますが、旭川のアイヌ語は余所と少し違うところもあります。

アイヌ語は全般に清音（カ、ス、テ、ホなど）と濁音（ガ、ズ、デ、ボなど）および半濁音（パ、ポなど）で意味の違いは来しません。無声音（清音）の方がきれいなアイヌ語だとも言われますが、旭川ではハンベをハンベと言ったり、アベフチカムィをアペフチカムィと言うのは奇異に感じられ通じにくいほどに有声音（濁音）が優勢でイチエンがイゼンと発音されたりもします。それでカタカナの表記は発音に重点を置いて別に清音に統一してありません。

英語の two の最初の音はこれまで通りトゥと表現します。「ウエ、ウォ」は we , wo を表し、「イエ」は ye を表します。

アイヌ語には日本語にない閉音節があります。「アマ、アメ、マス」などという開音節に対して「Am、Ms」などが閉音節で、必要に応じて「Am、Msh」と表すことにします。「アシ」（立てる）と「Ash」（立つ）では、前者は2音節、後者は1音節です。音声的には二重母音ですが閉音節としての性質を持つ、aw , ew , uy , oy など「アウ、エウ、ウイ、オイ」などと記します。同様に「カラ、コロ」なども閉音節の性質を持っていることを表します。

アクセントは高低アクセントで、その後で低くなるところにアクセントがあると表現することにすれば、通常は二番目の音節にアクセントがあります。ただし、最初の音節が閉音節なら、そこにアクセントがあります。この様式に合わないときには、「ミナ」などとアクセントのあるところを強調して記します。



今日のポイント 《季節や寒暖を表す言い方を通して学ぶ》

今日の例文

タンパー ソモ メー アンナ
tan pa somo me an na.
今年は寒くないですね。

エチキ ネノ イェー ソンノ メノエ アン フマシナ
eciki neno ye. sonno menoye an hum as na.
そんなこと言うなよ。 とても寒くなりそうだよ。

ク メーウン クアニカ クメーライケ
ku=meun. kuani ka ku=meyrayke.
わし寒いよ。 私も寒いの。

マタパ ネークス ポンノ メーアン ヤッカ ピリカ
mata pa ne kusu ponno me an yakka pirka.
冬だから少し寒くてもいいさ。

サクパ アナク シッセセクス クコヌクリ
sak pa anak sissesekekusu ku=konukuri.
夏季は暑いから好きじゃない。

明けましておめでとうございます。

語り物の中にウイマム（交易）という言葉があって、日本国の侍たちが新年に殿様のご機嫌伺いに出る初（ウイ）目見（マミエ）との関連が言われますが、アイヌ語に新年の挨拶言葉はありません。

春夏秋冬という言葉はありますが、夏の年と冬の年が基本だったようで、語り物などでは長い年月を表すのに、「夏年六年、冬年六年」と表現します。

気候が寒い暑いというのと、人の身体が寒い暑いと感ずるのは別のことです。

第1課、第2課といった序数の表現は、アイヌ語では「真っ先に」とか「その次に」などという形式が用いられ、複雑になりますので、第1課、第2課を便宜的に単に、勉強1、勉強2という形で表します。

MEMO

本日のレッスンで気になるところをまとめておきましょう。



; 関連する語句

タンパー [今年]	オヤパー [来年]
サクパー [夏年、昨年：ホシカンパー]	マタパー [冬年]
パイカラ [春]	サク [夏]
チュク [秋]	マタ [冬]
メーアン [冷える、しばれる]	メノエアン [冷える、しばれる]
メライケ [寒い]	メーウン [寒い]
シリメマン [涼しい]	シリポプケ [暖かい]



今日のポイント 《移動を表す表現と敬語について学ぶ》

今日の例文

ソィタ ネンカ アンナ アシンワ ヌカラ
soyta nenka an na asin wa nukar.
外に誰がいるよ、出て見なさい。

オヤコタヌンクンネー コトム カトケマト アンワ
oyakotan unkun ne kotom katkemat an wa.
よそのコタンの人らしいおばさんだよ。

テケ アニワ アフンケヤン
teke ani wa ahunke yan.
手を取って入れてあげなさい。

フチ、アフンワ エンコレ
huci, ahun wa en=kore.
どうか入ってください。

ナー ハンケノ アルキテク ロクワ エンコレ
na hankenon arki tek rok wa en=kore.
もっとそばに来てお座りなさい。

ヘンバラ エコタヌタ エサン
hempara e=kotanu ta e=san?
いつ帰るの？



; 関連する語句

- | | |
|---------------------|---------------------|
| アフン：アフフ[入る] | アフンケ：アフフテ [を入れる] |
| アシン：アシフ [出る] | アシンケ：アシフテ [を出す] |
| リキン：リキフ [登る] | リキンケ：リキフテ [を登らせる] |
| ヤン：ヤフ [上る] | ヤンケ：ヤフテ [を上げる] |
| アン/オカイ [いる、ある] | ア/ロク [坐る、座ってる] |
| アシ/ロシキ [立つ、立っている] | アシ：ロシキレ [を立てる] |
| エク/アルキ [来る] | オマン/パイェ [行く] |
| アレ：ロクテ [を坐らす] | オマンテ：パイェレ [を行かす] |
| ハンケ [近い] | トウイマ [遠い] |

他家を訪問した場合、「ごめんください」と案内を請うのでなく、屋外で咳払いをすとか、足音を立てるとかして、家の人が出てくるまで外で待ちます。先方の都合を思いやる優しさが、アイヌブ、アイヌ式礼儀の基本です。

挨拶言葉には、イランカラナテ（大人の男性が互いに挨拶するとき）がありますし、物をいただいたときなどに用いられるフンナという表現もあります。

アシンワヌカラは「出=アシン、て=ワ、見れ=ヌカラ」で、北海道でよく耳にする日本語と類似した表現で、「～してください」などと同じく、日本語にとてもよく似ています。

MEMO

本日のレッスンで気になるところをまとめておきましょう。

Handwriting practice area with horizontal dotted lines for notes.



今日のポイント 《日常の改まらないことばについて学ぶ》

今日の例文

ニサッタ エキムン クオマン クスネ
nisatta ekimun ku=oman kusu ne.
明日、山に行こうと。

ハンベ、 エントウラワ エンコレ
hanpe, en=tura wa en=kore.
父ちゃん、連れてってよ。

クンナノ エホブニチキ エトゥラアンワ パイエアン ナンコロ
kunnano e=hopuni ciki e=tura=an wa paye=an nankor.
朝早く起きたら連れて行くけどな。

オヌマンイベ オケレクス ヘンバノ モコロ
onuman ipe okere kusu henpano mokor.
晩ご飯終わったから、もう寝なさい。

ナーソモ クモコンルスィワ
na somo ku=mokon rusuy wa.
まだ眠くないよ。

ピリカ、エマウソクコロアンナ エコロフチ オロワ ネフカ オルシペ ヌーヤン
pirka, e=mawsok kor an na. e=kor huci orowa nepka oruspe nu yan.
よしよし、欠伸してるぞ、ばあちゃんから何か話聞きなさい。

ニサッタ クンナノ エモソソアックス ピリカノ モシヤン
nisatta kunnano e=mososo=an kusu pirkano mos yan.
明朝早く起こすからちゃんと目を覚ませよ。



; 関連する語句

ハンベ [父さん]

オナハ [お父上]

エキムン [お山へ]

ニタイ [林、森]

エカチ [子ども]

ミトポー [孫]

トット [母さん]

ウヌフ [お母上]

オキムン [お山から]

ヌプリ [山岳]

エカッタラ [子ども達]

ポー [子]

アイヌチセは間仕切りがなく、川上に向かってロールプヤラがあり、火の神様の居られる囲炉裏を中心にして人々の居場所も決まっていた。

大人と子ども、男性と女性で、社会的な分業ができていました。竈の神様以外へのお祈りは男の専売で、炊事洗濯は主に女性の仕事でした。薪拾いや水汲みは子ども達の役目でした。

鮭が川を上る頃になると川で洗濯したり、騒いだり大声を立てることはカムイに対してとても失礼なことでした。

MEMO

本日のレッスンで気になるところをまとめておきましょう。

Handwriting practice area with horizontal dotted lines.



今日のポイント 《アイヌという言葉の意味について学ぶ》

今日の例文

レプン モシリ カタ シネ コタン アンワ ネーウン アイヌウタラ ニシパ
repun mosir kata sine kotan an wa neun aynu utar nispa

ネー コロカ カムイノミカ ソモキ ウェンクル パテック ヤカイエー
ne korka kamuy nomi ka somo ki wenkur patek yakaye.

沖の或るコタンの男衆は金持ちだけとお祈りもしない非道い人たちがばかりだそうだ。

チュウベトコタヌン カトケマト ウタラ トウシテクノアンワ ケウトウム ピリカ ヤカイエ
ciwpet kotan un katkemat utar tusteknoan wa kewtum pirka yakaye.

忠別コタンのご婦人方はおしとやかで気高いそうです。

アイヌイタク アナクネ ピリカノ エカンピヌイエ ヤクン ナニ エエラマン ナンコロ
Ainu itak anakne pirkano e=kanpinuye yakun nani e=eraman nankor.

アイヌ語はしっかり勉強すればすぐに覚えられますよ。

ボンノボンノ カンピ エヌイエチキ ナニ アンコロイタカニ エイタク エアシカイ
ponno ponno kanpi e=nuye ciki nani an=kor itak ani e=itak easkay

ナンコロ
nankor.

少しずつ勉強すれば、じきにアイヌ語で話せるようになるでしょう。

アイヌ語のアイヌ（ひと、人間）はローマ字ではaynu, ajnu, ainuなどと表記され、同時に民族名としても用いられます。また、かつてはアイノという民族呼称も使用されましたが、国際的な民族名としては通常Ainuと表記されますので、AjnuやAynuは紛らわしいかと思えます。アイヌは多くの場合カムイと対立する概念で、人間としてのあり方、アイヌ社会での宇宙観などを理解する鍵です。

イネ（四）は、「イネ」ではなく「イネ」です。逆に「イナウ」「ウボボ」などを「イナウ」「ウボボ」などと言わないように注意しましょう。

MEMO

本日のレッスンで気になるところをまとめておきましょう。



; 関連する語句

アイヌ [人、男; アイヌ民族]

アンコロイタク [我々の言葉]

ウェンクル [貧乏人、根性悪]

カトケマト [ご婦人、奥様]

エアイカフ [ができない]

パーセ カムイ [畏れ多い神]

ラマト [魂]

オシケ [なかみ]

アトウィヤ [海の向こうの陸、ユーラシア大陸]

レブンクル [沖の住民、道外の人]

アイヌイタク [アイヌ語]

シサム [すぐ側、日本人]

ニシパ [旦那、大将、金満家]

エアシカイ [ができる]

ニトネカムイ [恐ろしい神]

ケウトウム [こころ、気立て]

ネットバケ [からだ]

ヌチャ [ロシア]

ヤウンクル [丘に住む者、北海道の住人]

1月31日は昔のコタンの思い出話を伺う予定です。どのようなお話になるか、出たところ勝負ですので、アイヌ語のテキストはありません。また、お伺いできるお話もあらかじめ決めてありませんので、以下に旭川についてのいくつかの情報を参考までにお届けします。

旭川はチュウペト（急流川）をチュウベツと発音して、チュウペト（お日様川）と混同した呼び名だと言われます。旭川は、クーチンコロ、イキッカアイヌ、モノクテ、川村カ子トアイヌ、荒井源次郎、尾沢カンシャトクなど優秀な指導者や著名なアイヌが出たところ。また、近文のアイヌコタンは金成マツ、杉村キナラブック、平賀サタモ、知里幸恵など顕著なユーカラカトケマトたちと深い関係にあります。

1850年代に蝦夷地を回った有名な松浦武四郎が調査時に見聞きして書留めた覚え書きを基に作成した「近世蝦夷人物誌」はお上の意向で公表できず、死後50年は世に出すなと遺言したと言われますが、翁の死後30年ほどして孫の手で一部公表されました。第二次世界大戦後ようやく全貌が日の目を見た内容は明治政府の政策を批判して官を退いた武四郎の面目躍如たるものがあります。

ここでは「日本庶民生活史料集成 第四巻」三一書房（1969、731～813）に収められている「近世蝦夷人物誌」から旭川地方に関わる二、三の話を要約してお届けします。どうか図書館などにて元の出版物に当り、原文やほかの話をお楽しみください。

奇童イキツカ

石狩場所上川のチクベツ（旭川）は（石狩の）会所元より8日路上ったカムイコタン大滝より更に2日路上ったところで、そこにイカンフリ（48歳）と妻カシマン（44歳）が75歳の母と住んでいた。子供はイキツカ（男22歳）、アリコサン（女21歳）、シノアングル（男12歳）、その妹の4人で、南は十勝、沙流、勇払、東は湧別、常呂、天塩あたりへ山獺して一家7人が暮らしていた。和人が増えてきて、アイヌ人は濱へ雇いに下げられ無人となって、今は家も朽ち果てている。

イキツカは幼いときから石狩岳、チクベツ岳を住居とし、どんなに強い熊や猛猿に出会っても見さえすれば取り損うことがなかった。また、豪熊を手馴れ山々を召連れて歩き回りもした。15 - 16歳の時に濱に下ろされたが、雇いになるのを嫌い、タシロと火打ち道具だけ持って山に入り、3年ばかり行方知れずで、死んだと思われていた。ところが、タシロも薄く研ぎ減らし、鹿皮と木の皮を繋いだ着る物を身につけて出てきた。コタンの仲間がどうして帰らなかったのか聞いたところ、イキツカの言うには、親兄弟アチャボたちが逃げ、番人や支配人の責めを受けるのを見るに忍びないから逃げたのだ。山で鹿や熊を友として居れば番人や支配人の不法を見なくてすむし、タシロが1つあれば弓を作り獺をするから獣は食い余すし、皮は着余す。秋は鮭鱒が多く、木の根、岩洞に貯えるから雪中の暮らしにも不自由しないと答えた。番人や支配人はイキツカを山に行かせないようにとんだめすかして置いたが、番人や支配人のするこ

とは一日とて見てもらえないとて、タシローつで癸丑（1853年、明治維新の15年前）に山に入ってから6年になるが音沙汰がない。今頃どこにいるか、という親兄弟からの話を聞いて、一度はその情に落涙し、一度は番人や支配人の酷さを思って怒り、またこのような人物がいるのも皇国の徴と喜び、足柄山の怪童丸の話も始めて本当だと思ったものだ。

このように松浦武四郎が記載していますが、ここに出てくる「奇童イキツカ」とは20世紀の始め、近文コタンで何時も木刀を腰に差していたと言われるイキツカエカシのことに違いありますまい。

知里幸恵の「アイヌ神謡集」冒頭の「其の昔此の広い北海道は、私たちの先祖の自由の天地でありました。天真爛漫な稚児の様に、美しい大自然に抱擁されてのんびりと楽しく生活していた彼等は、真に自然の寵児、何と云う幸福な人たちであったでしょう」という名文にもあり、山野を自由に飛び回って生活するのはごく当たり前のことでした。

近世蝦夷人物誌には、足跡さえ見つければ必ず仕留める名人獺師が毒で苦しむ雌熊を楽にしてやろうとした瞬間に雄熊に左手を噛みつかれ、タシロで自分の左手を切り落とし、右手と犬3匹で戦い、その後も右手一本の名人芸で獲物を授かっていた「獺人ブヤツトキ」の話や、信じられないくらいの豪傑快男児ヨシンの墓場からの生還りとその後の話も出ています。

また、「孝子エハイロ」という以下の如き話もあります。エハイロの母親は赤ん坊を産み落として他界し、父親イタクレフコは病で盲目と

なった。7人の兄弟のうち、上のエヒララ兄、ハシュイキ兄、ホネコ姉は運上屋に下げられて雇いとして働かせられ、家にはエハイロの他5番目のシロスケと乳呑み子で足の悪い妹と赤ん坊だけになった。母が死に、父が盲目になったので、兄や妹宛に言伝したが運上屋が帰すはずもなく、なんの返事も来ない。仕方なくエハイロは兄や姉を尋ねて、盲目の父親の手を引き、母の忘れ形見の赤子を懐に、幼い妹を背負い、片手に弟を引いて、何も分からない運上屋を目指して石狩川を下り、フルに茅屋作り、兄や姉を尋ね回って探し当てた。

エハイロは昼は山で草の根を探ったり、川で魚を取って口をすすぎ、兄や姉も暇を見ては来ていた。このエハイロがよく働くのに目を付け、運上屋では13歳か14歳にはなってるだろうと云うことで、小屋から連れ出して運上屋の台所で使った。やがてエハイロがとてもよく働くのを知り、武藤医者が小使い飯炊きにすると云って支配人からエハイロを貰い受けた。エハイロは武藤医者の用事の合間、合間に盲目の親の居る20町（2キロメートルほど）ばかり先を見舞いに尋ねて行き、少しも孝養を怠らなかった。武藤医者がエハイロの親の家に行くのを憎んで、火箸、火吹き竹、棒で叩いて折檻するのを、近所の人たちが見かねてエハイロに色々くれた。武藤医者は山椒太夫みたいでおまけに女房の方は伏屋の黒刀自ほどの化け物で朝な夕なに打ち叩かれたが、エハイロの孝養は続いた。後に幕吏新井氏もエハイロを憐れみ、武藤医者から暇を取らせ、エハイロに品物を与えた。

野の牡鹿、牝鹿子鹿のはてまでも
おのが野原を追われしぞ憂き

（バチエラー八重子）



今日のポイント 《女性や子どもたちの山まわりについて学ぶ》

今日の例文

トゥレブ チタークス エキムン パイエアシ コロカ ユナケ ルヤンベ
turep ci=ta kusu ekimun paye=as korka yupke ruyanpe

アシクス ホントムワノ ホシッパアシ
as kusu hontom wano hosippa=as.

うばゆり取りに山に出かけたがひどい雨になったので途中から戻りました。

ホシカン サク エキムン パイエワ シットウライヌ アイネ トウト
hoski an sak ekimun paye wa sirturaynu ayne tu to

レット キムタ オカイロク ヤカイエ
re to kimta okay rok yakaye.

前の夏、山に出かけて道に迷い、二日も三日も山に居られたとよ。

ウトウルケ チマキナ マーワ エーカネ シクヌー オルッペ クヌー
uturke cimakina ma wa e kane siknu oruspe ku=nu.

時々落を焼いては食べて助かった話を聞きました。

チマキナ アナク アンマー ワ アネー エアシカイ キナ ネルウェネー
cimakina anak an=ma wa an=e easkay kina ne ruwe ne.

落というものは焼いて食べられるものです。

キムタ オカイ ハルー オピッタノ アンター チキ ハルーカムイ
kimta okay haru opittano an=ta ciki haru kamuy

イルシカ クス ウェンナ エチキ オピッタ ウク ヤン
iruska kusu wen na, eciki opitta uk yan.

山にある山菜を全部採れば神様が腹を立てるから駄目だよ、決してみんな取るんでないよ。



; 関連する語句

ター [を掘る、を掘って取る]

ワッカタ [水汲みする]

マー [を焼く]

キナ [草]

トゥレブ [うばゆり]

ハト [ぶどう]

スース [水浴びする]

ペライ [魚釣りする]

トイタ [土を掘る、畑仕事する]

ウク [を受け取る、を取る]

マー [泳ぐ]

ハルー [山菜]

キト [行者にんにく、きとびる]

クトチ [こくわ]

スース [柳]

イパキクニ [魚頭叩き幣棒]

昔話の「おじいさんは山へ芝刈りに」と言うときの「山」がキムで、「そこに山があるから登る」「山」がヌプリです。

山には食べ物がたくさんありますが、カムイに断りとお礼を言って頂かねばなりません。また、取り尽くすようなことは決してしてはいけないと語られます。

MEMO

本日のレッスンで気になるところをまとめておきましょう。



今日のポイント 《気持ちを表す言い方について学ぶ》

今日の例文

ルヤンベ アシム アシ クス エチキ エソン アシンワ テタ ロカニ
 ruyanpe as hum as kusu eciki eson asin wa teta rok ani.
 雨になりそうですから外に出ないでここにお座りなさいよ。

ヌマン レラ ユブケコロカ タント シリポブケクス クチキリ ソモ アラカ
 numan rera yupke korka tanto sir popke kusu ku=cikiri somo arka.
 昨日は風が強かったけれども、今日は暖かいので足が痛みません。

イーソネカイ タント シリピリカ クス エキムン パイエアンローク
 isonekay tanto sir pirka kusu ekimun paye=an rok.
 よいあんばいに今日は良い天気ですから山に出かけましょうよ。

タン パー アナクネ シッセセク パー ネナ ソンノ クセセクワ ネブカ
 tan pa anakne sissese pa ne na. sonno ku=sese wa nep ka
 クキー クヌクリ
 ku=ki ku=nukuri.
 今年は暑い年だね。とても暑くて何もしたくないね。

ピッタ サバンワ スーサン ヤク アネキロロアンペ ネルウン
 pista sap=an wa sus=an yak an=ekiroroanpe ne ru un.
 浜に降りて水浴びするのは気持ちよいもんだよな。

マタ アンチキ ウパシ ポロンノ アシワ アブカシカ アネトランネ ナンコロ
 mata an ciki upas poronno as wa apkas ka an=etoranne nankor.
 冬になれば雪がたくさん降って歩くのも大変になりましょう。

雨のことをルイヤンベまたはルヤンベと言いますが、地方によってはアットとかウェニと言うようです。雨や雪についての動作表現は日本語の「降る」と違い、アシ(立つ)と言います。「秋立つ」の立つと同様に「～になる」と考えるとよいでしょう。

レ(3)に対してレブ(3つ)で、イワン(6)に対してはイワンベ(6つ)となるなど、「ブ」は(もの)を表しますが、開音節には「ブ」、閉音節には「ベ」または「ペ」が付くというように音節の性質で差が出ます。

キロロアン(嬉しい、楽しい)、エキロロアン(が嬉しい、を喜ぶ)は、別の方言では時に旭川で言うトゥムコロ(力がある、力持ち)と同じ意味に受け取られることがあります。

「7」は、アラワンであって、アラワンではありませんから、「アラ」が「レ(3)」と深い関係があって10-3だという説は認め難いと思われます。

MEMO

本日のレッスンで気になるところをまとめておきましょう。



; 関連する語句

シリメマン [涼しい]

ヤムワッカ [冷たい水]

セセクウセウ [熱いお湯]

カウカウ [霰]

ウララ [霧]

ウブン [吹雪]

エトランネ [をしたくない]

トランネ [怠ける]

ヌクリ [嫌いだ]

キロロアン [嬉しい]



今日のポイント 《アイヌ語の方言について学ぶ》

今日の例文

チチセ ソイケタ アシクネ セタ アンワ ヘンバラネヤッカ ミッコロカイ
ci=cise soyketa asikne seta an wa henpara neyakka mik kor okay.
うちの外に犬が5匹いて何時でもなっています。

チュプカウン コタノッタ セタ アナクネ アンレーコレカトゥ シタ ネルウェネ
cupkaun kotan otta seta anakne an=rekore katu sita ne ruwe ne.
東の方では犬(セタ)は「シタ」って言われるんです。

オヤコタンウンクル イタク イボッセ ボンノボカ クエラマン
oyakotanunkur itak iposse ponno poka ku=eraman.
よそのコタンの人の言うことはほんの少ししか分かりません。

アンコロイタク ネヤッカ シサミタク ネヤッカ クエランベテク イボッセ ポロンノ オカイ
an=kor itak neyakka sisam itak neyakka ku=erampetek iposse poronno okay.
アイヌ語でも日本語でも私には意味の分からないものがたくさんあります。

ソンノ オリパク カムイ ネクス アイヌコタンタ エピッタノ スルクカムイ
sonno oripak kamuy ne kusu aynu kotan ta epittano surku kamuy
アイシトマ
ay=sitoma.
とても恐れ多い神だからアイヌコタンではどこでも、とりかぶと神が恐れられる。

昔は国とか国境などなく、他民族の人々とも自由に交流していましたが、一方でアイヌ語も互いに通じ難い幾つかの方言に分かれていました。今ではアイヌ語はしばしば北海道方言、樺太方言および千島方言に大別されますが、多くの地方、特に北海道西海岸や千島列島は資料が少なく、どんな言語状態であったかほとんど分かりません。北海道内でも東北部と南西部では大きく方言が違いますし、東北部の幾分分かっている旭川、名寄、雨竜、帯広、本別、釧路などを比べても、それぞれの間大きな差が見られます。また、南西部にも多くの方言があり、樺太も東海岸と西海岸、北と南では大差があってアイヌ語全体では非常に多くの方言に分かれます。

方言差の大きい語彙とほとんどない語彙はある一面で文化を反映しています。

MEMO

本日のレッスンで気になるところをまとめておきましょう。



; 関連する語句

クチセ [我が家] {クコロチセ}
バケ [頭] {サパ}
サバウンベ [頭冠] {イナウル}
トット [母さん] {ハポ}
トゥナシ [早い]
ニタン [すばやい]
モイレ [遅い]
エラマン [を理解する、が分かる]
オナ [父上]

キコロアン [嬉しい] {ヌチャツテク}
コッカサバ [ひざ] {コッカパケ}
ハンベ [父さん] {ミチ}
ヘンバノ [早く]
ピカンノ [速い]
ラッチタラ [ゆっくりと]
ヘンバラ [何時]
エランベテク [を知らない]
ウヌ [母上]

2月28日はオィナをお聞きいただく予定ですが、何を聞いて頂くか未定ですので、放送内容とはかけ離れると思いますが、アイヌユーカラに関連することをお届けします。

ラジオもテレビもない時代にコタンの人々は一種の映像文化に興じました。それは電気による映像でなく、言葉による映像でした。アイヌ語には多くの視覚的な表現があり、語り物を耳から聞いたら眼前に生き生きとした映像が浮かび、人々はよっぴいて楽しむことができました。

俗にアイヌユーカラと呼ばれる謡い物がそれで、文語調の飾り言葉が用いられます。集団内に支配階級が生じて税を取り立てたり、証文を作成したり、ご都合主義の歴史を記録したりし始めると文字が必要になりますが、かつてのアイヌ社会では差し迫った文字の必要性がなく、アイヌ語固有の文字はありませんでした。上述の語り物で用いられる文語というのは、「ええ天気でんなあー」が「本日は絶好の晴天に恵まれて」などとなるような改まった言い方で、語彙も語法も幾分違います。これが雅語とも呼ばれる文語で「狼神が山にいる」が、口語では「ヌプリ カタホロケウカムイ オカイ」なら文語で「イヨッタパーセカムイ メトソ エホラリ」と言うとか、「我が家に着いた」を「チウタリ チチセ タ ホシッパアシ」と言うのと「チウタリ チウン チセ チコホシビ」などと表現する違いが見られます。

語り物の内容はウチャシクマと呼ばれ、物

事の起源の説明と教訓、コタンや人生の慣習法的な訓戒、動植物の生態への洞察、地形などの説明と森羅万象の解説、天変地変への対応教訓など非常に多岐にわたる大切なものです。「ウチャシクマにもある通り」と言えば水戸黄門の印籠みたいなものでした。このウチャシクマは処世訓とも処世の憲法とも言え、多くはオィナの形式で語り継がれました。

オィナは短い語句からなり、1句ごとに繰り返して現れるサケヘと呼ばれる語句が付き、全体の音楽的な面を大きく支えています。オィナはとてもりズミカルな歌で、1編は長くても30分くらいのもです。オィナの内容は1つの物語で、地方によりカムイユカラとも呼ばれます。夭折した知里幸恵の珠玉の小冊子「アイヌ神謡集」に紹介されている13の話はサケヘを省いてありますが、オィナを集めたものです。

オィナの内容を節を付けずに語ればトゥイタクとなります。トゥイタクは、小さい子どもたちに聞かせる昔話で、もちろんオィナの内容とは別に、トゥイタクとしての独自の話があり、笑い話や他民族からの借用と見られる話などもあります。トゥイタクは独特の語り口で話されますが、節のない話と理解されています。

オィナと同じく節が付いていてリズムカルなメロディからなる謡い物ですが、オィナと違い繰り返されるサケヘがなく、内容も雄大

な英雄物語で非常に長く、昔は蝦夷浄瑠璃として知られていたのが有名なユーカラです。これは所によりサコルベあるいはハッキと呼ばれ、北欧のカレワラや古代ギリシアのオデュッセイア、イリアスと並び称されるものです。昔は多くの人々が集まり、ユカヲクルがレブニと呼ばれる棒を片手に炉縁で拍子を取りながら演じ、観客はヘトチェ（合いの手）を入れながら耳からの映像を堪能しました。

オィナは原則としてカムイが演じるのですから一人称で謡われるのが当たり前かと思われませんが、英雄の物語であるユーカラや、大抵のトゥイタクも語り手が主人公になり一人称の形式で語られます。それ故、ユーカラやオィナをみんなで聞くのは臨場感に溢れた観劇だったと思われます。ユーカラの世界はラマトの宇宙で、暦年齢や肉体の大きさなどでなく、ラマトの強さ、霊力がものを言う、いわばSF的な世界ですから、幼児も天空を駆け巡って化け物と闘う映像に観客は手に汗を握り声をあげて応援しながら満悦しました。

上川地方には三人称形式で話される滑稽教訓話やパナンベ物語は沙流川流域のように多く残っていません。しかし、口から口へと歌い伝えられる口承文芸としてウポポが沢山あります。座ったままで音頭取りに続いてみんな合唱したり輪唱するロクウポポと、立ち上がって踊りながら歌うロシキウポポがあり、地域によって特徴が違います。これは今日でも広く行われていますが、人々の交流が盛んになり、道内の地域差も少なくなりました。

個人的な伝承ものとしてはイフンケ（イヨンノッカという人もいます）と言われる子守

歌や、その場その場で気持ちを表現するタフカラやヤィサマがあります。タフカラは立上って舞いながら謡うもので主に男性がします。ヤィサマのほうはヤィサマネーナなどという節に自分の気持ちを入れた即興歌ですが、その中の優れたものは人口に膾炙して後々までも残ることもあります。道内至る所で聞かれる恋しい人を慕って歌う、チカヲタクネルスイ（鳥にこそ私なりたい）は有名です。さらにヤィカテカラと呼ばれる独り歌のジャンルもあります。

オィナのサケヘ、ウポポの語句などは部分的な変形があったり、事情や文化的な背景が分からなくなったために今では文言の意味が不明のものも多くなりました。また、これらのメロディは個人的な授かり物で、同じ様な内容のユーカラやオィナでも誰それのユーカラとか誰々のオィナと呼ばれ、それぞれ特有の節で演じられます。

アイヌ口承文芸のもう一つの特徴は謡うときに裏声が使われたことですが、今日では裏声の美声を聞くのは至難になったようです。オィナやユーカラは読み物でなく、耳で聞いて見る物、口で語って聞かせて互いに楽しむ物です。ですから紙の上で読むと別の物になってしまうし、聞いて分かる人が居なければ語りに熱が籠りにくいでしょうし、ユーカラやオィナの値打ちも半減します。

どうかアイヌ伝統の口承文芸を耳で楽しむようになってください。すばらしいアイヌ語の世界が開け、あなたを虜にすることでしょう。



今日のポイント 《生活での数の表現について学ぶ》

今日の例文

シネ アイヌ トゥ メノコボ トゥラ シノトチャキ コラナワ
sine aynu tu menoko po tura sinotca ki kor anawa.
ある男が二人の娘と踊っていました。

ケウェ リー メノコ レンパクノ アルキコロカイ
kewe ri menoko ren pakno arki kor okay.
背の高い女性が3人ばかりやって来ます。

クボホ レン クトゥラワ インネ コタン チカマ テク フレシサム チセタ シレパシ
ku=poho ren ku=tura wa inne kotan ci=kama tek hure sisam cise ta sirepa=as.
我が子3人連れてたくさんのコタンを越え、外人の家に着きました。

イワン モシリ インネ コタン アンカマ テク レブンクル コタン アンコシレパ
iwan mosir inne kotan an=kama tek repunkur kotan an=kosirepa.
六つの国、幾多の村を越せば沖つ人の街に着きにけり。

タトカラアックス トウン チネワ エキムン パイエアサイネ タト ポロンノ チカラ
tatkar=as kusu tun ci=ne wa ekimun paye=as ayne tat poronno ci=kar.
樺皮取りにわしら二人して山に行っては樺皮をたくさん取りました。



; 関連する語句

- | | |
|------------------|------------------|
| シネブ [1個] | トゥブ [2個] |
| レブ [3個] | イネブ [4個] |
| アシクネブ [5個] | イワンベ [6個] |
| アヲワンベ [7個] | トゥベサンベ [8個] |
| シネベサンベ [9個] | ワンベ [10個] |
| シネン [1人] | トゥン [2人] |
| レン [3人] | イネン [4人] |
| アシクネン [5人] | イワニューウ [6人] |
| アヲワニューウ [7人] | トゥベサニューウ [8人] |
| シネベサニューウ [9人] | ワニューウ [10人] |
| シネブイカシマワンベ [11個] | トゥブイカシマワンベ [12個] |

世界中どこでも、昔は年齢的階層も相対的で、租税がなく、かつ貨幣がものを言わない社会でしたので、数を数える必要はほとんどありませんでした。
「イワンベ イカシマ ワンベ」と言う表現などは、足し算で、大和言葉の「むっつ余りとお」とよく似ています。

MEMO

本日のレッスンで気になるところをまとめておきましょう。

Handwritten notes area with horizontal lines.



今日のポイント 《礼儀と言葉遣いについて学ぶ》

今日の例文

アベフチカムイ ウニヒ ネークス アベオイ エチキ オイカニ
ape huci kamuy unihi ne kusu ape oy eciki oyka ani.
火の婆神様の家だから囲炉裏跨いだら駄目だよ。

メノコ ウタヲ ネットバケ ピリカノ ヌйна クニネナ
menoko utar netopake pirkano nuyna kuni ne na.
娘たちは身体をちゃんと隠すべきだな。

ナヌフカ チキリカ ソモ ヌカレ ヤクン ピリカ
nanuhu ka cikiri ka somo nukare yakun pirka.
顔も足も見せなければ良い。

プヤラカリ エエヘウパ チキ エコロアイヌプリ ウェンクス エキクキクアン ナンコンナ
puyar kari e=ehewpa ciki e=kor aynu puri wen kusu e=kikkik=an nankonna.
窓から覗くなんて、お前の性根が悪いから叱られるぞ。

キムタ イナウ ネニ エシトウイバ エトクタ ピリカ カムイノミ エシキー ナンコンナ
kim ta inaw ne ni es=tuypa etokta pirka kamuy nomi es=ki nankonna.
山でイナウにする樹木を切る前にきちんとお祈りをしなさいよ。

ポロモンライケ エシキークス タネ エシイベルスイ ナンコロ、エタク エーヤン エヤン
poro monrayke es=ki kusu tane es=ipe rusuy nankor. etak e yan, e yan.
大仕事したからもうお腹空いたでしょう。さあ、どうぞ、どうぞ。

極北の人々と同じように厳しい自然の中で培われた倫理・習慣として、知らない旅人にも最大限のもてなしをするのが人の道でした。

他家を訪問した際には帯をほどいて入るのが礼儀とされたと言いますが、女装で武器を隠して暴虐を振るった侵略者の過去の現実が与えた教訓でしょうか。

MEMO

本日のレッスンで気になるところをまとめておきましょう。

: 関連する語句

チウンチセヘ [我が家]
ヌカラ [を見る]
インカラ [眺める]
コトチャケ [の手前]
サマケ [の側]
エンカ [の上方]

クルマ オー [車に乗る、車に乗っている]
ヌカレ [を見せる]
エタク エーヤン [さあ 食べなさい]
エトコ [の先]
カシケ [の上]
クー ヤン [飲みなさい]



今日のポイント 《アイヌモシリとカムイについて学ぶ》

今日の例文

アイヌモシリカタ オカイベ オピッタ カムイ ネルウェネヤ
aynu mosir kata okaype opitta kamuy ne ruwe ne ya?
地上に居るものはみんなカムイなのでしょうか。

ソモ オオア アナクネ ソンノ カムイカ ソモネ
somo, ooa anakne sonno kamuy ka somo ne.
いいえ、蛙なんかほんとのカムイじゃないね。

パーセカムイ ポロンノ オカイ ウトゥルケタ イヨッタ パーセカムイ アナク
pase kamuy poronno okay uturketa iyotta pase kamuy anak
ホロケウカムイ ネルウェネ
horkew kamuy ne ruwe ne.
重要なカムイがたくさん居られる中でも一番重要なカムイは狼神でございます。

ホロケウカムイ アッカリ キムンカムイ アナク イヨッタ パーセカムイ ネルウン
horkew kamuy akkari kimun kamuy anak iyotta pase kamuy ne ru un.
狼神より山ん神こそ一番重要なカムイなんです。

カムイネノアン パーポロ フチ サマケタ エアー チキ フチ パクノ エシクヌー ナンコロ
kamuy neno an pa poro huci samaketa e=a ciki huci pakno e=siknu nankor.
神様のような高齢の婆さまの側に座れば、婆さまほども長生きできるでしょう。

カムイネヤッカ アイヌネヤッカ ウェニケウエン ピリカイケピリカ
kamuy neyakka aynu neyakka wenike wen pirkaike pirka.
神様でも、人間でも、悪い奴は悪いし、良い者は良い。



; 関連する語句

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| コタンコロカムイ [ふくろう、村の神] | カムイチェブ [鮭、神さま魚] |
| アマメチカブカムイ [雀さん、米食い鳥神] | ヤーテブカムイ [蜘蛛、網編み神] |
| ユクカムイ [鹿の神、狩の授かり物神] | レイエブカムイ [犬神、這い神] |
| シランバカムイ [大地の神、立木の神] | ソーコロカムイ [瀧の神] |
| ワッカウシカムイ [水の神] | レブンカムイ [鯨、沖の神] |
| アイヌネーノアンアイヌ [人間らしい人間、男の中の男] | |

アイヌ社会は汎神論的なアニミズムの世界であると言われてますが、もっと複雑な靈魂、ラマトの世界です。今日では昔のことでよく分からない事柄も多くなりましたが、マクタエカシやマクタフチの教えを子孫に残すのがアイヌ民族と地球の生物に対する我々の責務かと思えます。

MEMO

本日のレッスンで気になるところをまとめておきましょう。

Handwriting practice area with horizontal dotted lines.